

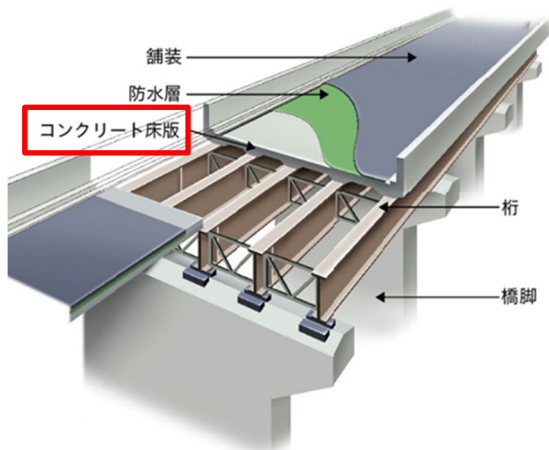
■ 高速道路ネットワーク機能を長期にわたり健全に保つために

E1 東名は、開通から 50 年余りが経過し老朽化が進んでいます。これまで、部分的な補修や補強を繰り返してきましたが、橋梁構造体の損傷が進み、床版(橋の床部分)下面のコンクリートのひび割れ、剥離、内部鉄筋の腐食などが確認されており、抜本的な対策として、耐久性の高いコンクリート床版に取り替えます。

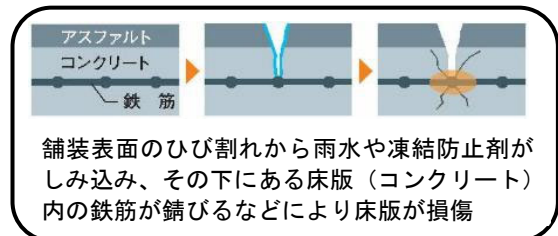
【大井松田 IC～足柄スマート IC の橋梁の状況】



【富士川スマート IC～清水 JCT 間の橋梁の状況】



(鋼橋の構造)



(床版の劣化メカニズム)